

港湾空港技術特別講演会 in 中部2013

内閣府から南海トラフの巨大地震について（最終報告）が
など、地震・津波に関する関心が高まっています。本公演では、
地震・津波等に関する様々な最前線の研究成果を地域の一般の
の方々に分かりやすく情報提供します。

主催

国土交通省中部地方整備局
国土交通省国土技術政策総合研究所
独立行政法人港湾空港技術研究所

日時：平成25年11月25日(月) 13:15~16:15
(受付 12:45~)
会場：ウインクあいち 10F 1002 会議室

講演内容

13:15~13:25 開会の挨拶

13:25~13:35 港湾空港技術研究所の近況

独立行政法人 港湾空港技術研究所 理事 福田 功

13:35~13:45 国総研における最近の研究開発の概要

国土交通省 国土技術政策総合研究所 管理調整部長 吉田 秀樹

13:45~14:10 南海トラフの地震を対象とした強震動評価への SPGA モデルの適用

独立行政法人 港湾空港技術研究所 地震防災研究領域 地震動研究チームリーダー
野津 厚

14:10~14:35 津波に対する防波堤の被災メカニズムと粘り強い構造

独立行政法人 港湾空港技術研究所 海洋研究領域 領域長 下迫 健一郎

14:35~14:50 休憩

14:50~15:15 港湾施設の LCM 技術に関する最近の知見と動向

独立行政法人 港湾空港技術研究所 ライフサイクルマネジメント支援センター
上席研究官 加藤 絵万

15:15~15:40 東日本大震災後の津波対策に関する動向

国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 津波災害研究官
岡本 修

15:40~16:05 海洋レーダとシミュレーションが連携した津波減災技術の開発

国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部
沿岸域システム研究室長 日向 博文

16:05~16:15 閉会の挨拶

◇お申し込み

参加無料。参加を希望される方は、件名に「港湾空港技術特別講演会 in 中部 2013 参加希望」と明記し、
①氏名、②会社名等、③E-mail アドレス、④電話番号、⑤住所をご記入のうえ、メール又は FAX にて
以下にお申し込み願います。(11月15日締め切り)

E-mail: lecture@pa.cbr.mlit.go.jp

FAX: 052-209-6308

※定員 150 名 (先着順です。定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承下さい。)

会場案内図：ウインクあいち

(愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38)

JR 名古屋駅桜通口から徒歩 5 分



土木学会認定 CPD プログラム
認定番号 JSCE13-0599 (2.8 単位)

問合先

国土交通省中部地方整備局 港湾空港部
海洋環境・技術課 電話 052-209-6329